

2021/12/21

(オマケの英語教室 responsibility) 書庫版



Responsibility は邦訳では「責任」と訳されます。

そういえば反応や応答に関して我が国では

「レスポンスが早いなあ」

とか

「クイック・レスポンスで頼むぜ」

と言ったりします。特に職場などで。

そしてよく見てみると responsibility は response (レスポンス) の名詞形である事が見て取れます。

つまり responsibility は response (反応や応答) を (早く)「返す」ことが第一義的にあると
言うことでしょう。

ならば何に対しての反応や応答を早く返すのか？

そこで又 response という単語をよく見てみると re + sponse から成り立って居る事に気が
きます。

Re が意味するのは「返す」「繰り返す」等ですから、此処では「返す」に当たるでしょう。

では sponse は何を表しているのかと言えば、皆さんお馴染みの言葉 sponsor (スポンサー)
から推測して「提供する」「出資する」「後ろ盾になる」等の邦訳が思い浮かびます。

となれば「提供者」「出資者」「後ろ盾」即ち是を勘案すれば「依頼者」「質問者」等に対し
て (素早く)「反応や応答を返す事」が「責任」又は「責任を果たす」事の原義だと言えそ
うです。

だとすれば「責任」又は「責任を果たす」というのは必ずしも「解を出す」事や「最適解を
出す」事ではなく、まずは「依頼や問い掛け」に対して何らかの「反応や応答」を返す事だ
と言うことになります。

仮に良い解が見つけられない場合、或いは解そのものが見つけられない場合、又は見つけら

れるのだけが見つけるのが遅くなる場合にも

「良い解が見つけれません」「未だ見つけれません」「見つけるのが遅くなります」等を適宜素早くアナウンスすることも最良ではないにしろ「責任を果たすことの一端」にはなるのではないのでしょうか。

特に相手が依頼事の経過を一刻も早くしり、出来なければ出来ない、間に合わないのであれば間に合わないなりに代替策を即断実行しなくてはならないような時には「遅れてきた最良解」よりは遙かに「責任を果たしていること」になり、結果、部分最適解ではない全体最適解として、よりマシな結果を招くような気が致します。

Even if it`s a tiny pancake on the wedding table, it is much more well rather than reached wedding cake after wedding party over.

(たとえちっぽけなパンケーキでも、お開きになった後の結婚披露宴に届けられたウェディングケーキよりは遙かにまし)

要するに「責任を果たす」には「タイミングがとても重要な key factor となる」ということでもあるのかもしれないね。